

ハラスメント学ぶ

「全員の理解が大事」

は10月23日、ハラスメント問題研修会を開いた。百五経済研究所経営コンサルティング部の大地勉部長を講



師に招き、セクシュアルハラスメントやパワーハラスメントについて学んだ。

中田社長が「セクハラやパワハラは本人の認識ではなく、相手の感じ方が問題。労働環境を良くも悪くもするの自分たちなのだ」と、意識しながら勉強しよう」とあいさつ。

続けて、「女性従業員と女性の採用応募が増えてきて、全社員の年齢層も19歳から68歳と幅広くなった。異なる世代が接点を探した

研修会に社員30人が参加

がら会話する中、悪気は無くても無頓着な表現が相手を傷つけるケースもある。ハラスメント問題は、全員で理解することが大事」と話した。

大地氏は「普段から一人ひとりが認識を高め、働きやすい職場づくりに取り組んで欲しい」と呼び掛けた。

また、社会保障と税の共通番号（マイナンバー）制度の説明会も行われ、中田商事の藤森純子情報管理室長が、概要及び会社としての対応を詳しく解説した。

（星野誠）